

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

四貫島小学校

児童数

227

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.35	20.55	37.90	40.80	50.10	9.34	150.00	22.89	55.39
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	19.20	17.60	44.10	38.20	35.60	9.84	136.60	13.67	54.13
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点は、男女ともに全国平均をやや上回る結果となった。男女ともソフトボール投げの結果が良かった。日頃から、ボールを使って遊んでいる様子がよく見られ、ボール運動に親しむ環境にあったことが要因と思われる。1週間の総運動時間が60分未満の児童は男子11.1%、女子0%、また、420分以上の割合は男女とも全国平均を大きく上回った（男子全国48.1%・本校66.7%、女子全国26.5%・本校40.0%）。「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答では、男子では全国平均をやや上回った。女子は好きと嫌いに分かれる傾向がみられた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育の学習において、運動が楽しくなる活動に取り組むとともに、休み時間等においても、日常的な遊びを通して運動に親しめるよう運動できる環境を整えてきた成果が表れた。とりわけ、ボール運動は、それに親しむ環境やきっかけがあることが大切であることがよくわかった。児童が運動に親しみ、進んで取り組むために、体育の授業において運動の楽しさを追求する授業づくりや、運動週間の設定や運動時間の確保、運動しやすい環境の整備を進めていくことが重要である。